

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度 12 月補正予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名 県産品販路開拓促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 国内展開係 電話番号：058-272-1111(内 3097)

県産品振興係 電話番号：058-272-1111(内 3092)

E-mail : c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 30,000 千円 (現計予算額：35,633 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	35,633	0	0	0	0	0	0	0	35,633
補 正 要求額	30,000	0	0	0	0	0	0	0	30,000
決定額	30,000	30,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内の伝統工芸品は、東京 2020 大会の様々な場面で活用され、国内外の消費者の目に触れる機会を得たことで、岐阜の魅力発信に大いに貢献したが、伝統工芸品を求める外国人観光客や出品・出展の機会は減少している。

このため、ECサイトと連動したウィズコロナにおける新たな県産品販売の仕組みを構築することで、伝統工芸品を含む県産品の販路拡大を支援する必要がある。

(2) 事業内容

- ・ 集客が見込め、日本の文化に高い関心を持つ消費者が集まる施設において、伝統工芸品を中心とした県産品を訴求する展示販売会を開催する。
- ・ 展示販売会では、QRコードを活用し、県のアンテナショップである「THE GIFTS SHOP」のECサイトに開設した特設ページへ誘導す

るなど、ウィズコロナにおける新たな県産品販売の仕組みを構築する。

(3) 県負担・補助率の考え方

大都市圏での販路拡大に向けた支援施策は、県の経済対策及び地域活性化対策であり県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	350	職員業務旅費
需用費	60	事務消耗品費
役務費	35	通信運搬費
委託料	29,555	展示販売会運営費、ECサイト運営費
合計	30,000	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県成長・雇用戦略2017」

[3]海外展開・販路拡大支援プロジェクト

(2) 国内におけるビジネスチャンスの提供

(3) 新分野に挑戦する中小企業の新商品開発、販路開拓等への助成

(2) 国・他県の状況

展示即売会とECサイトの連動による販売機会の提供事例はない

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

大都市圏等消費者のニーズを反映した商品を開発・販売し、産業基盤を強化することで、企業の商品力・販売力が向上し、更なる販路開拓に繋がる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

展示即売会の開催と共に、ECサイトで扱う伝統工芸品等の商品点数を増やし、販売機会を増やす。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業 開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達 成 率
		(H)	(H)			
伝統工芸品等を扱う事業者のECサイト出品商品数 ※THE GIFTS SHOP ECサイトののみ		(H)	(H)	91点 (R3.10)	160 (R4.3)	%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・ 事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・ 前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ禍において、伝統工芸品等の価値を多くの方に実感してもらい、購入してもらいやすい仕組みを構築することは重要であり、県の関与は必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸品等に限らず、他の県産品においても同様の販売の仕組みを波及させ、販路拡大を推進していく
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	